



大上地区社協の役員が県総合防災センターを見学

大上地区社協は、本年度の役員研修会として2月6日(木)に身障者施設「足柄療護園」の見学を予定していたが、同園のインフルエンザの流行で急きょ中止となり、見学候補になっていた厚木市にある「神奈川県総合防災センター」に変更して見学会を実施しました。

当日は、大上地区社協の役員と会員24名、そして市社協の大上担当者の総勢25名が参加して市所管のマイクロバスを使って行なわれた。

同防災センターは、地震や風水害などの体験や防災情報の展示がある施設で、参加者は災害が発生した際、自分や家族、そして要援護者や高齢者の身を守る知識習得のため、各種の体験をしながら熱心に見学していました。



記念写真に収まる参加者の皆さん

岩月理事が神奈川県社協主催の交流会で発表

神奈川県社会福祉協議会が主催して横浜駅近くの県社会福祉会館で2月21日(金)に開催された「孤立しない、させないための支えあいをつくる」をテーマにしたボランティア活動実践交流会で、わが大上地区社協の岩月理事が“実践報告者”として他の2氏と共に県下の自治会、社協、NPO等の団体の関係者70名の参加者を前に30分間講演した。大上地区社協からも市ノ澤会長以下4名が参加。

岩月理事は「団塊世代の男性を孤立させないサロン」と題して、日頃の深谷大上ふれあいの家の「火曜喫茶店」での活動状況を中心に説明。参加者は岩月理事のパワーポイントを使った話に真剣に聞き入っていました。



実践発表する岩月理事(上)と交流会の会場

綾北小学校から登下校見守り隊の会員が招待される

綾北小学校では、1月28日(火)に恒例の「なわとびグランドチャンピオン大会」を催し、保護者の皆さんと共に大上と寺尾地区社協の登下校見守り隊の皆さんも招待されました。大上地区社協からは市ノ澤会長以下同校の校区内の2、4、9区の7名の会員が出席。

当日は、午前9時15分に全校児童359名がグラウンドに集合し、体育委員会の児童によって開会の言葉、選手宣誓、ルール説明、そして準備体操があって競技に入った。



全校児童が参加したなわとび大会

競技の最初は全校児童による交差とび、そして二重とび、後ろ二重とび、あやとび、はやぶさと続き、1～3年生の前とび、最後に4～6年生の前とびと続いた。特に4～6年生の前とびでは10分経過時点で11名が残り、15分間のゾーンチャンピオンに10名が達成するなど、同校の伝統行事だけに児童たちは日頃から学校や家庭での練習の成果を存分に発揮していた。最後に、深谷校長から「一生懸命頑張ることを忘れないで下さい。」との挨拶があって、晴天ながら強風の中での行事は終わった。

また、同時に体育館では全校児童の絵や工作を展示した「図工展」も催されており、見学に来た皆さんは児童たちの作品を熱心に見学していました。